

2015年度奨学候補生現地(カンボジア)選考会 実施報告書

- 【実施日】 2014年8月28日(木) 10:00～
【会場】 カンボジア・プノンペン市 インターコンチネンタルホテル
【主催】 一般財団法人 共立国際交流奨学財団
【現地運営団体】 NPO 光語学スクール



前列左から：菊川理事長、北原審査委員長、後列二人目からSAM SAVEN、RO RATHKIMLIN、KIM TITNITA、右端永井実行委員

〈総評〉

当財団ではカンボジア王国で、日本に留学する為に日本語を勉強していて、2015 年 4 月から日本の日本語学校に進学を予定しているカンボジア王国の学生を対象とし、2014 年 8 月 28 日(木)にカンボジア王国・プノンペン市で、奨学候補生現地選考会を開催いたしました。

応募者数 7 名のうち 3 名を奨学候補生として採用いたしました。

選考会では、参加者にグループ面接をし、一人一人に日本留学を希望する理由等様々な質問をし、選考委員 2 名による審査の結果、奨学候補生 3 名を決定いたしました。

奨学候補生 3 名には、2015 年度 4 月から 2016 年 3 月までの 1 年間、日本で月額 6 万円の奨学金(総額 72 万円)を支給します。

2015 年度奨学候補生として採用された学生が、無事に 2015 年 4 月 1 日に日本の日本語学校に入学した時に始めて、充実した留学生活の修学支援をすることを楽しみにしています。

〈実施報告〉

■ 選考会

| | |
|--------|-------|
| 10:00～ | 選考会面接 |
|--------|-------|

出席者： 7 名 ⇒ 採用者： 3 名



選考会の様子

■ 授与式

| | |
|--------|----------------------|
| 11:30～ | 2015 年度 奨学候補生採用証 授与式 |
|--------|----------------------|

式次第

- 一、開会の辞
- 一、理事長挨拶
- 一、選考委員長講評
- 一、証書授与
- 一、奨励賞授与
- 一、閉会の辞



菊川理事長挨拶



北原選考委員長講評

一般財団法人 共立国際交流奨学財団 理事長 一般財団法人 共立国際交流奨学財団 評議員



採用者 3 名に証書の授与

【採用者】 (株)共立メンテナンス奨学基金奨学金 (月額 60,000 円×12 ヶ月)

| 氏名 | フリガナ | 学校名 |
|---------------|------------|------------------------------|
| SAM SAVEN | サム サブン | Puthisastra 大学卒業(タヤマ学校) |
| KIM TITNITA | キム テットニッター | カンボジアメコン大学4年在学中 |
| RO RATHKIMLIN | ロー ラットキムリン | 王立法律経済大学・ワスタン大学卒業 (タヤマ学校) |

講 評



選考委員長 北原 賢三

神田外語大学 特任教授 兼 キャリア教育センター長
当財団奨学金選考委員

カンボジアでの奨学候補生の選考は私にとって初めての経験であった。日本でのアルバイト目的ではなく、本当に日本語を学びたい熱心な応募者がいるのかどうか心配であった。今回、応募者は7名であった。全般的な応募者の印象としては、日本語を学んでそれをどう活かすかという明確な目的のない応募者がほとんどのような気がした。通訳者になりたいとか、日本企業に勤めたい、ビジネスをやりたいというような漠然とした目的であった。中には、大学で日本語および日本ビジネスを4年間専攻した後に、現地日本企業で3年間勤務している応募者がいた。それだけの学業経験のわりには日本語の会話があまりできなかった。また、日本語に関心を持ったきっかけも、他の国の応募者は日本の漫画やアニメがたいへん多いが、カンボジアの応募者にはないようだった。これは戦乱の後に、日本からの文化が自由に流入してこない状況だったのだろう。そのような応募者の中に、将来日本で学べたら「和食」を専門学校で勉強しカンボジアに和食レストランを開きたいという者がいた。日本語の会話がかなりよくできていた。現地日本語学校で2年間、日本企業で3年間勤務経験のある20代後半の者であった。応募者の中では一番日本語での会話が上手であった。今回の選考では日本語を学ぶ目的が明確であり、向上心があり、かつ明るい性格であることなどを念頭においた。カンボジアの応募者があまり将来の目的が明確でないのは、戦争が終了してからまだ国内のインフラなども整備されておらず、経済状況もよくないので、若者が具体的な職種を思い浮かべるには難しい国情なのかなと推測もした。とりあえず、日本語をやって何とか収入のよい仕事を見つけないという段階なのかもしれない。日本の若者が就職が難しいとはいいいながら、努力さえすれば、各種の専門的な資格も取れる環境はカンボジアと比較するとたいへん恵まれているといえる。



一般財団法人 共立国際交流奨学財団

所在地：〒101-0021

東京都千代田区外神田 2 丁目 18 番 8 号

T E L : 03-5295-0205

F A X : 03-5295-0206

U R L : <http://www.kif-org.com>

